

辞書の使い方を身に付け、学力を大幅に向上させよう

開倫塾

塾長 林 明夫

Q：辞書の使い方を身に付けると、学力は向上するのですか。

A：(林明夫：以下省略)はい、向上すると考えます。特に、学習するときに辞書を用いていない人は、辞書の使い方を身に付ければ、今後飛躍的に学力が向上すると考えます。

成績のよい人の中には、自分の力を過信して辞書など不必要と考え、学習する際に辞書を用いない人が数多く存在します。そのような人が辞書の使い方を身に付ければ、今後も更に成績が向上すると確信します。

Q：どのように辞書を用いたらよいのですか。できるだけ具体的に、また、わかりやすく説明して下さい。

A：はい、わかりました。どのようにして辞書を用いるのか、その真髓しんすいをお伝えします。よく読んで、そっくりそのまま実行して下さいね。やるべきことはあります。

(1)まず第一に大切なことは、学習する際には必ず辞書を身近に置くことです。家庭、学校、開倫塾、図書館などで学習するときには、武士が刀を持ち歩くように、とにかく片時も辞書を手放さないことが大事です。

(2)紙の辞書、電子辞書のどちらがよいかというと、家で学習するときには紙の辞書を用い、家以外で学習するときには携帯に便利な電子辞書がよいかもしれませんね。ただし、電子辞書は高価ですので、無理をして買うことはありません。紙の辞書でも十分に役に立ちます。私は、学校に通っている間は紙の辞書を用いることをお勧めします。

(3)どのような辞書を手元に置いたらよいか。国語辞典と英和辞典の二つは、どんな科目を学習するときにも必ず身近に置いて下さいね。読み方のわからない漢字や漢字自体の意味を調べるのには、「漢和辞典」が役に立ちます。日本語の英語での言い表し方を知るには、「和英辞典」が役に立ちます。古文を学習するには、「古語辞典」がとても役に立ちます。

(4)少しずつでもよいですから、これらの辞典を自分の手で探し、自分の手元に置く努力をして下さい。学校の図書室や市・町の図書館には必ず辞書が置いてありますので、大いに利用して下さいね。古本屋に行けば、新品同様の辞書が安く買えますよ。

(5)学校や開倫塾の教科書や教材、テキストなどを「学習」して、意味のよくわからない「ことば」があったら「あまり気持ちがよくない」、もっとはっきり言えば「気持ちが悪い」と考え、躊躇ちゆうちよすることなく、ためらうことなく(英語で言うと、ウィズアウト・ヘジテーション)辞書を用いて、その意味を調べることです。

教科書などに書いてあることの中に、意味のよくわからない「ことば」があってもあまり気にしないという「学習」の仕方をしていると、書いてある内容がよく「理解」できずに、いつになっても学力は向上しませんからね。

(6)学校や開倫塾などの授業中に、先生のお話の中に意味のよくわからない「ことば」が出てきたら、サッとメモをして、必ず辞書を用いて調べましょう。意味のわからない「ことば」をそのまましておかないことが大事です。授業中も意味のわからない「ことば」が出てきたら「気持ちが悪い」と感じ、それらをメモし、授業中か授業後に辞書を用いて調べることが大事であると私は考えます。

(7)辞書を用いて調べた「ことば」は、その意味といっしょに「科目ごとの意味調べノート」にメモし、記録しておくことが極めて大切です。

何のために「科目ごとの意味調べノート」を作るのかよくお考え下さい。「科目ごとの意味調べノート」は、そのノートを毎日 ページ目から繰り返し読み直すことによって、「ことば」とその辞書に出ている意味をシミからシミまで正確に覚え、自分のものとするために作成するものです。

「ことば」とその意味を身に付ける、「定着」させるときにも声を出して読む「音読練習」と、書いて覚える「書き取り練習」はとても役に立つ学習方法ですよ。

(8)この「科目ごとの意味調べノート」は、皆様の一生に渡って役に立つ「宝物」となります。学校のすべての教科の教科書も一生役に立ちますので、学校を卒業しても決して処分しないで、折に触れて読み直して下さいね。お願いします。

(9)受験生の皆さんは、受験勉強中に学習した参考書や模擬試験の問題・解説文などの中で少しでも意味のわからない「ことば」に出合ったら、必ず辞書を用いてその意味を確認。「科目ごとの意味調べノート」にその「ことば」と意味をメモし、 ページ目から毎日繰り返し学習して下さい。偏差値が短期間で急上昇します。これを続けると、偏差値が下がることが激減します。

*以上の()～()を確実に行って下さい。

Q：なぜ辞書を用いると学力が上がるのですか。

A：()～()を確実に行えば、「ことばの数」(語彙の数)が確実に増え、教科書や教材、テスト問題や解説書に書いてあることがよく「理解」できるようになるからです。

学校や開倫塾の授業中に先生方が教えて下さることの意味が「理解」できるようになるからです。

Q：最後に一言どうぞ。

A：「ことばは力」です。自分自身が使いこなせる「ことばの数」、「語彙の数」を増やすことが、学力向上の第一歩です。偏差値アップの第一歩です。

「ことば」の力を身に付ける最大の武器・道具が、様々な「辞書」です。様々な「辞書」の特徴と使用方法を十分に「理解」した上で、辞書を使いこなし、学力を急上昇させて下さい。

受験生は、試験当日、直前まで辞書を手放さず、「ことばの数」を つでも多く増やして下さい。

よい辞書と「科目ごとの意味調べノート」は、皆様の一生の「宝物」となります。決して手放さないようにしましょう。

(宇都宮大学大学院工学研究科客員教授)

— 年 月 日記一